

第5章 製 図

製図は、本町の指定する給水装置台帳などの用紙を使用して位置図、平面図及び配管の立体図を作成することによって、給水管の管種及び布設状況、給水用具の取付位置、道路の種別などを図示するものである。

図面は、工事の設計、施工及び給水装置の維持管理上の基本的な資料となるものであるから、詳細、明瞭かつ正確に作成しなければならない。

5.1 一般事項

1. 図面の大きさは、A4または、A3サイズとする。
2. 製図記号、実線の色は、表－5.1の標準記号によるものとし、同表にないものについては、特に説明がなくとも、一見して誰にでもわかる記号を用いること。
3. 名称、寸法などの文字は丁寧に、体裁よく書き、数字は方向と位置に気をつけなければならない。
4. 長さの単位はmとし、口径はmmである。

特に竣工図の作成時には、用具間、分岐点、管種、口径の変わるごとに、φ20 PP 25.5mのように記入する。

なお、延長数は、屋内配管については10cm単位、埋設管についても10cm単位とし、各単位以下は切り捨てること。又、延長数は、分岐点、わん曲点、用具、継手間の中心から中心までの寸法とし、平面図・立体図ともに分岐箇所から末端までの施工範囲全ての寸法及び管種を記入すること。

5. 方位は、北を上とすることを原則とするが、いずれの場合であっても必ず方位は明示するとともに、全ての図面において同方向にすること。
6. 台帳表面右下に配・給水管路台帳図番号を記入すること。
7. サドル分水栓、既設管接続、止水栓、量水器の位置は家屋や電柱など目印となる位置からの距離を記入すること

5.2 位置図

位置図は、工事施工場所の位置を示すものであって、目標となる建造物や河川、道路路線名などを明示し、工事施工場所との位置関係を明確に表すものである。位置図は、給水装置工事承認申込書の中に記述するとともに、別紙にて全体図と詳細図を提出すること。

縮尺は、施工場所を判明しやすいものであればよく、特に限定しない。

5.3 平面図

平面的な配管状態、給水用具の名称・取付位置などのほか、建物の間取り、配置、大きさ、道路の幅員などを一定の縮尺で図示すること。

なお、平面図には、道路の路線名、歩車道の区別、公有地と私有地との境界線や両

隣りの家屋及びその設置番号を明記すること。

縮尺は1/200とすることを原則とし、変更の必要のあるときは、その縮尺の単位を図上に明示すること。また、管種、口径、延長などを記入する。

5.4 立体図

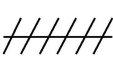
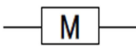
給水装置を立体的に図示するものであって、縮尺は現実の寸法に関係なく、配管状態などが明確に判別できるものであればよい。

水抜栓などの用具類の形状寸法や管種、管径、延長、関係変更点には配管記号を記入するほか、平面図に表すことのできない箇所に使用する材料や施工法について明瞭に図示すること。

5.5 その他

1. 止水栓、バルブ位置及び分岐位置の表示は、給水装置の維持管理上重要なものであるから、表示の基点の取り方は、容易に変動を来たさない既設の永久的構築物などを選定し、積雪などによる埋没なども考慮して定めなければならない。
2. 給水装置申請書の図面に便器の設置を表示する場合には、タンクタイプまたはタンクレスタイプの明示をすること。

表-5.1 ニセコ町上下水道課給水装置工事標準記号（平面図）

(青色) 	配水本管 (管径は別記による)		外装管		割T字管
(緑色) 	分譲地等の 大本既設給水管	撤去 	撤去管		止水栓 メーター止水栓 仕切り弁
(緑色) 	既設給水管	埋殺 	埋殺し給水管		量水器
(茶色) 	既設給湯管		サドル分水栓 分水栓		チャッキバルブ メーター直結逆止弁

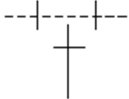
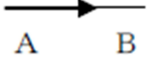
(青色) 	新設給水管		チーズ		水抜栓
(赤色) 	新設給湯管		PPソケット MCユニオン		空気弁
	電動水抜栓 水抜バルブ		給湯栓		屋内消火栓
	定流弁		混合栓		管径違い箇所
	定圧弁		湯沸器 温热水器等		交差
	減圧弁		加圧ポンプ		隔測メータ ー指示器
	給水栓		屋外消火栓		受水槽

表-5.1 ニセコ町上下水道課給水装置工事標準記号（立面図）

	サドル分水栓		散水栓		減圧弁
	チーズ		水抜栓		給水栓
	ソケット ユニオン		湯抜付 水抜栓		給湯栓
	割T字管		電動水抜栓		混合栓
	上は小口径 下は大口径		FLハンドル 水抜栓		シャワー 水洗
	管種変更点		FMバルブ		給湯器
	止水栓		Dバルブ		アングル付 止水栓
	量水器		屋内空気弁 (吸気弁)		ボール タップ

Z	逆止弁	F	定圧弁		
---	-----	---	-----	--	--

表－5.2 管種別記号（アルファベットは大文字記載）

L P	鉛 管	P B P	ポ リ ブ デ ン 管	C I P	鋳 鉄 管
C P	銅 管	X P E	架 橋 ポ リ エ チ レ ン 管	D I P (K)	ダ ク タ イ ル 鋳 鉄 管 (K 形)
S G P W	亜鉛メッキ鋼管	P E	ポ リ エ チ レ ン 管	D I P (T)	ダ ク タ イ ル 鋳 鉄 管 (T 形)
S U S	ス テ ン レ ス 管	V P	塩 化 ビ ニ ル 管	D I P (NS)	ダ ク タ イ ル 鋳 鉄 管 (N S 形)
V B	塩ビライニング 鋼 管	S P	塗 覆 装 鋼 管	D I P (GX)	ダ ク タ イ ル 鋳 鉄 管 (G X 形)
P B	ポ リ 粉 体 ライニング鋼管	C I P	鋳 鉄 管	H I P E	配 水 用 ポ リ エ チ レ ン 管